

令和6年度  
主要事業

誰ひとり取り残さず

市民の幸福度増進のために

01 創造性あふれる  
産業が息づくまち



▼仙北市畑作園芸等振興事業費補助金  
262万4千円

水田を活用した園芸作物などの新規作付や規模拡大などに取り組み経営体に対し、施設・機械・資材などの導入経費の一部を助成します。

▼農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金  
550万円

令和5年7月の大雨で被害を受けた農地の復旧、被災農業者の再生産に向けた取り組みに対して助成を行い、農業経営などの再建を支援します。

▼地域計画策定推進緊急対策事業費  
53万7千円

人・農地プランを法定化し、地域での議論を深め将来の地域農業の担い手を幅広く確保するとともに、農地バンクを活用した農地の集約化などを推進します。

▼農地中間管理機構関連ほ場整備事業費  
2830万円

中川地区・大瀬蔵野地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業にかかる費用を負担します。

▼有害鳥獣駆除事業費  
761万円

農産物・林産物の被害防止のため有害鳥獣駆除を実施します。急増するツキノワグマへの対応策を強化するとともに、新規猟友会員の増加を図ります。

▼企業誘致対策事業費  
352万6千円

企業誘致活動費や田沢湖黒沢工業団地などの管理経費に加え、令

和6年度からサテライトオフィスを含む企業誘致にかかるPR動画の作成などを行います。

▼グリーンツーリズム推進事業費  
165万6千円

農家民宿・農家レストランおよびアウトドアを含む農山村地域への誘客活動と農家民宿の多言語パンフレットの増刷を行い滞在時間の増加を目指します。

▼青少年国際交流事業費  
467万6千円

台湾と本市の中学、高校生の相互交流を促進します。令和6年度は台湾教育局関係者の招へいと中学、高校生を訪台事業も行います。

▼リトリート推進事業  
104万1千円

国内外から芸術作品、音楽活動などをはじめとする独自の感性を持っている方を招へいし、滞在中の活動を支援します。アーティスト・イン・

レジデンスの仙北市版の実施を通してリトリートの推進を行います。

02 人が輝き安心して暮らせるまち

▼社会資本整備総合交付金事業費  
3億8550万円

市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装などの整備と道路構造物などの長寿命化に向けた取り組みを実施します。



▼冬期交通対策費  
4億8396万3千円

冬期降雪時においても円滑な交通を維持するため、万全な除雪体制を整えます。

▼排水対策事業費  
1070万円

豪雨災害による越水被害を防止するため、排水路の整備を行います。

▼防災行政無線維持管理費  
1億2276万2千円

従来の防災無線設備の維持管理を行いながら、マルチデバイスに対応した防災情報配信の新システム導入・構築を行います。

03 優しさにあふれ  
健やかに暮らせるまち

▼こども家庭センター運営事業費  
354万2千円

各種子ども・子育て支援事業の充実を図るために、母子保健機能と児童福祉機能双方を一体的に運営する「こども家庭センター」を開設します。



▼すこやか子育て保育料助成事業費  
3724万4千円

私立の認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料・副食費を助成します。令和6年度より0・2歳児への助成を拡充し、全ての階層の保育料・副食費を実質的に無償化します。

▼就学前教育・保育施設主食費無償化事業費  
192万9千円

育児にかかる保護者の負担軽減のため、3歳以上児への主食(米飯)の無償提供を行います。

▼就学前教育・保育施設整備等補助金  
740万3千円

認定こども園運営法人に対して防犯対策強化や病児病後児保育施設的设计費用にかかる補助金を交

付します。

▼PHR管理運営事業費  
1000万1千円

マイナポータルに紐付けられたPHRを活用して健康に関するデータを一元管理し、専用のアプリにより可視化させることで市民のセルフケア意識を向上させ、市全体として健康寿命延伸を目指します。

▼医療Maas管理運営事業費  
952万5千円

医療機関への受診が容易な市民と、困難な市民との医療格差を解消するため、医療Maas車両による遠隔診療体制を整備・運営します。

▼MRI検診補助金  
173万円

乳がんの早期発見・早期治療を促進するため、秋田大学医学部卒の医師が考案した「無痛MRI乳がん検診」にかかる検診費用に対し、1件につき1万1000円を助成します。

▼仙北市ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座開設事業費  
900万円

秋田大学医学部と仙北市が共同で寄附講座を設置します。仙北市

04 自然と調和した潤いのある  
暮らしを実現するまち

▼猫不妊去勢手術費補助金交付事業費  
20万4千円

近隣住民の生活環境悪化を未然に防止するため、飼い主のいない猫の望まれない繁殖の抑制を図ります。

▼塵芥処理費  
7837万7千円

家庭ごみの収集運搬業務や廃止済最終処分場の水質検査を実施し、市民の快適な生活環境を維持します。





05 個性豊かな心を育むまち



▼スクールバス購入事業費

1264万2千円

令和7年4月の角館小学校と白岩小学校の統合に伴い、白岩地区の児童の通学に必要なスクールバスを新規に購入する。

▼角館小学校・白岩小学校統合関係事業費

149万7千円

令和7年3月をもって白岩小学校が閉校することに伴い、閉校関連行事を行う。

▼仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費

447万6千円

市内企業の職場体験・企業説明会、仙北市で活躍する方の中から選定する「キャリアマイスター」による講演などを、高校生のみならず小・中学生も対象に実施することで、児童生徒の「仙北市で働き、生きていくイメージ」を養い、将来的な若者の地元企業就職率の向上を目指します。

▼JFA夢先生招聘事業費

75万1千円

JFA（日本サッカー協会）が、日本や世界で活躍するアスリートを学校に派遣し、児童生徒に夢に関する授業を実施します。

06 誇りある暮らしをつなぐまち

▼定住対策推進事業費

510万7千円

移住定住パンフレットの作成や定住促進奨励金の交付を継続しながら、令和6年度からは、移住希望者に対し「住まい応援金」として、引越しや除雪器具購入にかかる補助金を支給します。

▼移住体験推進事業費

905万2千円

移住希望者向けに新たに移住体験事業を展開し、仙北市に住み生きていく具体的なイメージの醸成を通じて、より多くの人がより幸福な移住を実現できるようにします。移住体験ツアーの企画・実施や、移住体験住宅の整備・運営などにかかる経費を計上します。

07 新たに創るゆめのまち

▼インターナショナルスクール誘致事業費

2892万9千円

国家戦略特区の優位性や豊富な観光資源、首都圏からのアクセスのよさなどの強みを活かして、インターナショナルスクールの誘致に取り組み、外国人子女などの定住人口や外国人の交流人口の増加、教育産業などの新たな産業の育成による雇用機会の創出、地域の魅力度向上を目指します。

08 みんなが主役協働のまち

▼ふるさと納税の心と便仙北市魅力発信事業費

9億2684万1千円

ふるさと納税事業の推進により、市の財源を確保するとともに、市内産業の活性化を図ります。また、仙北市の魅力発信事業として情報発信を強化し、特産品を中心とした市の魅力を全国に向けて発信します。

詳しい事業の内容は…

一般会計、特別会計および企業会計について、当初予算の概要をまとめた資料を仙北市ホームページ (https://www.city.semboku.akita.jp/government/information/yosangaiyo.html) に掲載しています。右記二次元コードからご覧ください。



組織再編をお知らせします

時代の変化に対応して施策を推進するため、令和6年4月に組織再編を行います。

第一に、企画部の総合情報センターを総務部に移管のうえ、デジタル政策係を設置し、行政DXをより一層推進します。

第二に、市民福祉部に、こども家庭センターを新設し、出産から子育てまで切れ目のない重層的な子育て支援にあたります。

第三に、市民福祉部市民生活課を、国保市民課と生活環境課に分割し、市民に寄り添った窓口対応を行います。生活環境課に、業務が関連する総合防災課の交通防犯係を移管します。

第四に、新型コロナウイルスワクチンの集団接種の終了に伴い、保健課の新型コロナウイルス対策係を廃止、観光課内の業務統合により桜まちづくり係を廃止し、組織のスリム化を図ります。

具体的な組織再編は、下記のとおりです。  
※再編部分のみ抜粋して掲載

